

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 中国財務局長

**【提出日】** 平成25年10月15日

**【四半期会計期間】** 第29期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

**【会社名】** ローツェ株式会社

**【英訳名】** RORZE CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 崎谷文雄

**【本店の所在の場所】** 広島県福山市神辺町字道上1588番地の2

**【電話番号】** (084)960 - 0001(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 橋本 勲

**【最寄りの連絡場所】** 広島県福山市神辺町字道上1588番地の2

**【電話番号】** (084)960 - 0001(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 橋本 勲

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第28期 第2四半期 連結累計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第28期
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
売上高	(千円)	4,669,019	6,180,465	9,359,426
経常利益	(千円)	128,928	566,097	451,748
四半期純利益又は 当期純損失( )	(千円)	49,668	383,710	141,563
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	209,477	959,757	723,565
純資産額	(千円)	7,656,089	9,073,826	8,145,776
総資産額	(千円)	14,626,078	17,565,351	15,520,889
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額( )	(円)	2.95	22.77	8.42
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	2.95	22.56	
自己資本比率	(%)	44.1	43.3	43.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	553,922	865,822	871,751
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	142,887	216,214	406,094
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	573,738	256,067	261,318
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,308,023	3,483,164	2,889,791

回次		第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.76	15.58

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第28期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政問題や新興国の成長鈍化に対する懸念などから景気の先行きに対する慎重な見方が続く中、政府の経済対策や金融政策により、企業収益や個人消費にも改善傾向が見られるようになり、景気回復への期待感が徐々に高まってきました。

当業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大に伴い、台湾のファウンドリによる積極的な半導体設備投資が行われたことに加え、韓国の主要取引先においても中国におけるディスプレイ製造装置の設備投資が実施されました。

このような状況の中で当社グループは、期初計画に比べて下半期の予定案件が上半期分として前倒しで実施されたことなどから、当社グループの主力製品であるウエハソータやEFEMなどのウエハ搬送装置や、ガラス基板搬送装置及びガラスカッティングマシン(GCM)の受注及び販売が増加し、大幅な増収増益となりました。

一方、米国大手半導体メーカーからの依頼を受け、工程中で待機状態にあるウエハの表面の酸化膜形成を防止するために窒素を充填した基板保管装置「N2パージ対応ウエハストッカ」を開発し、納入するなど、客先ニーズに対応した装置の開発に一層注力しました。

損益面については、引き続き台湾子会社におけるウエハ搬送装置の販売が好調に推移したことに伴う利益増加に加え、当社が昨年11月に発表した新製品の販売増加や、グループ各社のコスト削減への取組み等により利益確保をはかりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,180百万円(前年同期比32.4%増)、営業利益646百万円(前年同期比336.0%増)、経常利益566百万円(前年同期比339.1%増)、四半期純利益383百万円(前年同期比672.5%増)となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2,044百万円増加し、17,565百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加593百万円、受取手形及び売掛金の増加674百万円及びたな卸資産の増加213百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,116百万円増加し、8,491百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加807百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ928百万円増加し、9,073百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加333百万円、為替換算調整勘定の増加477百万円及び少数株主持分の増加100百万円によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて593百万円増加し、3,483百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は865百万円(前年同四半期は553百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益566百万円、売上債権の増加502百万円及び仕入債務の増加769百万円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は216百万円(前年同四半期は142百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出188百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は256百万円(前年同四半期は573百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額150百万円、長期借入れによる収入100百万円及び長期借入金の返済による支出473百万円によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、146百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績が著しく増加しております。この内容につきましては、「(1) 業績の状況」をご覧ください。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,280,000
計	35,280,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,640,000	17,640,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	17,640,000	17,640,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月31日		17,640,000		982,775		1,127,755

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
崎谷文雄	岡山県井原市	7,981,000	45.24
株式会社中国銀行	岡山市北区丸の内1丁目15-20	320,000	1.81
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	247,700	1.40
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	225,500	1.27
ローツェ従業員持株会	広島県福山市神辺町字道上1588番地の2	224,800	1.27
株式会社ジャフコ	東京都千代田区大手町1丁目5-1	200,000	1.13
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目9-1	195,400	1.10
マネックス証券株式会社	東京都千代田区麹町2丁目4-1	139,652	0.79
中銀リース株式会社	岡山市北区丸の内1丁目14-17	120,000	0.68
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12-3	100,800	0.57
計		9,754,852	55.29

(注) 上記のほか当社所有の自己株式716,359株(4.06%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 716,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,922,400	169,224	
単元未満株式	普通株式 1,300		
発行済株式総数	17,640,000		
総株主の議決権		169,224	

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ローツェ株式会社	広島県福山市神辺町字道 上1588番地の2	716,300		716,300	4.06
計		716,300		716,300	4.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,889,791	3,483,164
受取手形及び売掛金	2,877,123	3,551,614
商品及び製品	555,434	374,285
仕掛品	1,735,021	2,009,510
原材料及び貯蔵品	1,249,608	1,369,806
繰延税金資産	129,920	184,559
その他	113,353	417,531
貸倒引当金	41,633	54,820
流動資産合計	9,508,620	11,335,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,321,793	2,419,154
土地	2,383,300	2,408,372
その他(純額)	511,492	624,029
有形固定資産合計	5,216,585	5,451,556
無形固定資産	204,829	209,718
投資その他の資産		
投資有価証券	248,404	181,752
繰延税金資産	8,375	2,383
その他	349,325	389,866
貸倒引当金	15,251	5,577
投資その他の資産合計	590,853	568,425
固定資産合計	6,012,268	6,229,699
資産合計	15,520,889	17,565,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	757,223	1,564,280
短期借入金	2,982,676	3,058,390
未払法人税等	67,715	152,836
賞与引当金	26,591	122,949
役員賞与引当金	-	3,000
製品保証引当金	271,454	368,197
その他	766,200	959,651
流動負債合計	4,871,861	6,229,305
固定負債		
社債	64,720	68,800
長期借入金	1,930,177	1,642,715
繰延税金負債	83,260	85,291
退職給付引当金	58,453	95,279
役員退職慰労引当金	344,767	345,997
資産除去債務	19,662	22,628
その他	2,208	1,507
固定負債合計	2,503,251	2,262,220
負債合計	7,375,113	8,491,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,130,670	1,139,963
利益剰余金	5,872,779	6,206,024
自己株式	121,846	106,659
株主資本合計	7,864,378	8,222,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,076	2,827
為替換算調整勘定	1,102,819	625,697
その他の包括利益累計額合計	1,098,743	622,869
新株予約権	28,914	22,692
少数株主持分	1,351,227	1,451,900
純資産合計	8,145,776	9,073,826
負債純資産合計	15,520,889	17,565,351

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	4,669,019	6,180,465
売上原価	3,565,885	4,417,115
売上総利益	1,103,134	1,763,349
販売費及び一般管理費	954,777	1,116,552
営業利益	148,356	646,797
営業外収益		
受取利息	6,661	10,593
受取配当金	115	115
売電収入	-	6,852
補助金収入	16,772	7,234
その他	4,355	5,356
営業外収益合計	27,905	30,151
営業外費用		
支払利息	21,110	17,894
為替差損	23,024	46,166
デリバティブ損失	-	39,233
その他	3,197	7,557
営業外費用合計	47,332	110,851
経常利益	128,928	566,097
特別利益		
投資有価証券売却益	-	275
有形固定資産売却益	572	-
新株予約権戻入益	976	-
特別利益合計	1,548	275
特別損失		
有形固定資産除却損	457	104
特別損失合計	457	104
税金等調整前四半期純利益	130,019	566,268
法人税、住民税及び事業税	110,101	239,687
法人税等調整額	68,731	72,206
法人税等合計	41,370	167,481
少数株主損益調整前四半期純利益	88,648	398,786
少数株主利益	38,980	15,076
四半期純利益	49,668	383,710

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,648	398,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,401	1,505
為替換算調整勘定	134,230	562,475
その他の包括利益合計	120,829	560,970
四半期包括利益	209,477	959,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,632	857,686
少数株主に係る四半期包括利益	60,845	102,070

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	130,019	566,268
減価償却費	161,208	144,241
無形固定資産償却費	19,395	22,370
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,289	9,755
受取利息及び受取配当金	6,776	10,708
支払利息	21,110	17,894
為替差損益(は益)	3,746	92,069
デリバティブ損益(は益)	-	39,233
有形固定資産除却損	457	104
有形固定資産売却損益(は益)	572	-
売上債権の増減額(は増加)	15,909	502,535
たな卸資産の増減額(は増加)	424,840	13,187
仕入債務の増減額(は減少)	83,138	769,507
その他	167,906	82,691
小計	682,368	1,033,566
利息及び配当金の受取額	6,151	8,395
利息の支払額	30,199	15,557
法人税等の支払額	104,397	160,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,922	865,822
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	34,055	188,646
有形固定資産の売却による収入	572	-
無形固定資産の取得による支出	11,423	8,103
投資有価証券の取得による支出	7,950	23,030
投資有価証券の売却による収入	-	43,175
貸付けによる支出	60,000	-
貸付金の回収による収入	3,382	-
定期預金の預入による支出	-	25,800
その他	33,412	13,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	142,887	216,214
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	31,300	150,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	791,642	473,160
リース債務の返済による支出	700	700
ストックオプションの行使による収入	358	18,258
自己株式の取得による支出	11	-
配当金の支払額	50,441	50,464
少数株主への配当金の支払額	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	573,738	256,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,722	149,243
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	124,979	542,782
現金及び現金同等物の期首残高	2,433,002	2,889,791
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	50,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,308,023	3,483,164

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日至平成25年8月31日)	
連結の範囲の重要な変更	
第1四半期連結会計期間より、平成25年2月に設立したJIKA JIKA CO.,LTD.(決算日12月31日)を連結の範囲に含めております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	千円	12,530千円
支払手形	千円	138,740千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
役員報酬	45,777千円	51,400千円
給料手当	281,193千円	335,918千円
賞与引当金繰入額	36,169千円	60,632千円
役員賞与引当金繰入額	3,000千円	3,000千円
退職給付費用	14,041千円	19,340千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,155千円	11,762千円
研究開発費	160,236千円	146,112千円
貸倒引当金繰入額	5,289千円	9,768千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金	2,308,023千円	3,483,164千円
預入期間が3か月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	2,308,023千円	3,483,164千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月30日 定時株主総会	普通株式	50,441	3	平成24年2月29日	平成24年5月31日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	50,464	3	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

当社グループは、半導体業界のIC製造工場及び液晶業界の液晶ディスプレイ製造工場の製造工程で使用される無塵化対応搬送用ロボットやその応用装置の開発・製造・販売を主業務としており、その製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種、同系列の搬送装置を専ら製造販売している単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

当社グループは、半導体業界や液晶業界における無塵化対応搬送装置の開発・製造・販売を行う「半導体・液晶関連装置事業」と、精密シャフトモータ等に使用する磁石の製造・販売を行う「磁石事業」を報告セグメントとしておりますが、「磁石事業」の割合が低く、情報開示としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度(平成25年2月28日)

当社グループは、デリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

当第2四半期会計期間末(平成25年8月31日)

対象物の種類が通貨であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

区分	対象物の種類	取引の種類	契約額等(千円)	時価(千円)	評価損益(千円)
市場取引	通貨	為替予約取引 売建 受取韓国ウォン、支払米ドル	1,826,650	39,233	39,233
市場取引以外の取引	通貨	為替予約取引 売建 受取韓国ウォン、支払米ドル	478,805	18,224	18,224

- (注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。  
 2. 為替予約の時価は、差金決済額(差損益)を記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2円95銭	22円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	49,668	383,710
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	49,668	383,710
普通株式の期中平均株式数(株)	16,815,475	16,855,043
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2円95銭	22円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	49	151,652
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

ローツェ株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 世 良 敏 昭

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 原 晃 生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているローツェ株式会社の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ローツェ株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。